

JOCA 関東ブロック会議 結果報告（平成 20 年 11 月 22～23 日）

11月22日～23日に長野市国民宿舎永保荘で行われた評議員ブロック会議（関東）の報告をいたします。

神奈川県からの参加者は、西山さん（大阪から駆けつけられました）、畦地さん、長谷川さん、高野さん、吉永さん、小島の6名でした。西山さん、畦地さん以外の4名は小島の車で出発しましたが、途中渋滞、さらに事故渋滞に巻き込まれ、開催から15分遅れで到着しました。

始めは、長野国際親善クラブ会長小出博治氏の「長野五輪1校1国活動とその後」というタイトルの講演で行われました。遅れて聞くことになりましたが、小出氏は長野五輪1校1国運動の提唱者で、彼の考え、活動は、十分我々協力隊OBの活動趣旨とも合い、とても参考になりよい講演だったと思います。

その後、いよいよブロック会議に入りました。私はブロック会議に参加するのは初めてで、22日と、23日午前約2時間ずつ行われましたが、非常に熱く、かつ険悪なムードにならず、友好的に会議が進められました。

○ 1日目

各県の上半期OB会活動報告：各県ともそれぞれ独自の活動を行ってのがわかりましたが、この会議を通じて、

- ・あらかじめブロック会議にでる前に何を話し合えるかが分かればよかった。
- ・OBとしてブロック会議を通じて何ができるか。
- ・そもそもブロック会議の趣旨は何であるか。
- ・これからのOB会についてどうあるべきか。
- ・肩肘をはずずにOB会が存続していけばいい。
- ・協力隊の経験を伝える場を増やしていくためにどうしたらいいか。

などといった意見が出て、結局答えが出るにはいたらなかったと思いますが、とても活発な意見が飛び交いました。

○2日目

まず始めに駒ヶ根研修所所長山形茂生氏の話（割愛）

次に、JOCAの活動及び会計中間報告。

- ・エッセイコンテスト
- ・キャラバン
- ・実践者ネットワークで今後いかに人員を確保できるか。
- ・ポスターキャンペーン... 1月の評議委員会に持ち越し。

など盛りだくさんの内容が話し合われました。特にキャラバンにおいてはかなり活発な意見が出されました。既に九州と東北の2地区は終了しているとの事でしたが、今後どのような形で宣伝活動を行っていくべきか。これも答えは出なかったと思いますが、皆さん本当に積極的な意見を出されたと思います。

会議終了後は、協力隊OBが経営する農家に行き、りんご狩りをしながら、国際パートナーシップ事業研修員、その他関係者家族、清泉女学院大学学生その他大勢の方々と交えての交流会が行われました。

餅つきあり、おでん、豚汁その他たくさんの料理を野外で食べながらとても楽しい会でした。